

2月21日、久留米西鉄タクシーの「ママ安心・あんざんタクシー」をご利用のお客さまが、無事に出産し、お礼の言葉をいただきました。

2月21日午前3時30分過ぎ、お客さまからの連絡を受け、自宅前に配車。奥さまとご主人がご乗車された直後、車内で出産という事態に車内は緊張するも、運転していた溝上繁明乗務員は、励ましの言葉をかけながら懸命に運転し、病院までお連れしました。到着後、溝上さんはすぐに窓口へかけつけ、看護師さんに声をかけるなどをし、お客さまをサポートしました。

母子ともに健康で、体重2,740グラム、身長47センチで生まれた赤ちゃんは現在、すくすくと育っているそうです。

お客さまのお礼の言葉と、この劇的な出産をサポートした、乗務員のコメントをご紹介します。

お客さまからのお礼のことば

昨日はありがとうございました。

振り返ってみると、出産が迫った中で一人で妻を介助するのは大変不安でした。運転士さんの存在が、安心感を与えてくれました。自分で運転して病院に行っていたら、妻の介助はできませんでしたから。

長男が、貴社の電車とバスが大好きで、週末によく駅に遊びに行くのですが、次男はオレンジ色のタクシーが好きになるかもしれませんね。

本当に、ありがとうございました。



平成24年2月21日に生まれた横尾さまの次男。辰年にちなみ、「竜之介」くんと命名されました。

いかなる時でも、臨機応変に対応することの大事さを改めて感じました。

乗務員の方に伺いました!



久留米西鉄タクシー
溝上 繁明さん(49)

お客さまが乗車後、奥さまはとても苦しんでおられ、私はその声を聞きながら、必死に運転しました。タクシーの中で出産した直後、産声をあげていないと話していたのでとても心配しましたが、ご主人が病院に連絡し、背中をさすると赤ちゃんの「オギャー」という元気な泣き声が聞こえました。その声を聞いたときはとてもホッとしましたし、自分の家族のように嬉しく思いました。

今回の経験をふまえ、何ごとがあっても、臨機応変に対応して乗務をしていきたいと意識するようになりました。これからも、安全第一でお客さまに安心してご乗車していただけるよう頑張っていきたいと思います。

◆あともぎ◆

「とにかく、早く病院にお連れしなくては!」と思った乗務員の溝上さん。乗車時間の数分がとても長く感じたといいます。広報室にこの知らせが入ったとき、偶然にも横尾さまは仕事で広報室に來社されており、広報室一同ビックリ!出産のお祝いムードに包まれました。出産にはドラマはつきもの、私自身もその経験者の一人です。お客さまの人生の節目に西鉄グループが関わることの素晴らしさを改めて感じた取材でした。

(広報室 藤田)

久留米西鉄タクシー

「ママ安心あんざんタクシー」でお客さまから喜びの声